衆議院議事錄第三卷第十一

明治二十五年五月二十三日(月曜日)

午後一時開場

出席政府委員

白根内務次官
渡邊大藏次官
三好司法次官
辻　文部次官
河津遞信次官

議長ハ書記官長ヲシテ左ノ報告ヲ朗讀セシム

一　明治二十五年度歳入歳出總豫算追加案ヲ政府ヨリ提出セラレタリ

一　坂本則美君竹村藤兵衞君角田眞平君浮田桂造君ヨリ特

別市制撤去法案、市制追加法案ヲ、佐々木正藏君ヨリ衆議院規則追加ノ件ヲ、工藤行幹君立入奇一君加藤六藏君ヨリ郡制改正法案ヲ、加藤平四郎君立川雲平君ヨリ移民地探檢費ニ關スル建議案ヲ提出セラレタリ

一 集會及結社法案審査特別委員長ニ末松謙澄君同理事ニ伊藤大八君、外國ニ輸出スル物品ニ課スル海關稅免除法律案審査特別委員長ニ原善三郎君同理事ニ立川雲平君當選セラレタリ

一 立石寛司君新井章吾君内藤利八君田中正造君佐藤文兵衞君齋藤良輔君本間耕曹君齋藤善右衞門君ハ蠶業奬勵法案ノ贊成ヲ取消ス旨申出ラレタリ

一 野出鎗三郎君ヨリ登記法改正法律案中へ左ノ一箇條追加ノ旨申出ラレタリ

第四十四條　町村制ヲ施行セサル土地ニ在テハ戸長ヲシテ登記事務ヲ取扱ハシム

一 鹽田奥造君安東九華君ヨリ本日ノ議事日程中蠶業奬勵法案ハ字句正誤スヘキ廉其ノ他贊成者姓名ニ異動有之ニ付延期セラレタキ旨申出ラレタリ

議長ハ柴四朗君ヨリ病氣ノ爲十日間、藤田茂吉君ヨリ病氣ノ爲二週間ノ請暇書ヲ提出シタル旨ヲ告ケ之ヲ許可スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ議事日程ニ揭載シタル府縣監獄費及府縣監獄建築修繕費國庫支辨ニ關スル法律案（政府提出）ノ第一讀會ヲ開ク旨ヲ宣告シ書記官ヲシテ之ヲ朗讀セシム

白根内務次官ハ本案ノ趣旨ヲ辯明ス

都崎秀太郎君（二百十番ハ左ノ動議ヲ提出ス

本案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ハ各部ニ於テ選擧シ其ノ結果ハ全體ニ付テ通算スヘシ

議長ハ都崎秀太郎君ノ動議ヲ採用スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ議事日程ニ揭載シタル登記法改正法律案（野出鎗三郎君提出）ノ第一讀會ヲ開ク旨及其ノ朗讀ハ之ヲ省略スル旨ヲ宣告ス

本案提出議員野出鎗三郎君（四十九番）ハ本案ノ趣旨ヲ辯明ス

三好司法次官松澤光憲君（百十一番）ハ反對、大岡育造君（百五十四番）ハ贊成ノ演說ヲナス

井上角五郎君（七十六番）ハ左ノ動議ヲ提出ス

特別委員ヲ設ケテ本案ノ審査ヲ付託スヘシ其ノ選擧ハ各部ニ於テ投票シ其ノ結果ハ全體ニ付テ通算スヘシ

加藤六藏君（二百四十三番）ハ左ノ動議ヲ提出ス

各部ヨリ一名ヲ、委員ヲ選擧シ本案ノ審査ヲ付託スヘシ

齋藤珪次君（二百七十三番）ハ左ノ動議ヲ提出ス

特別委員ヲ設ケテ本案ノ審査ヲ付託スヘシ其ノ選擧ハ議長ノ指名ニ因ルヘシ

早川龍介君（三十七番）ハ左ノ動議ヲ提出ス

討論ヲ終局スヘシ

可決

議長ハ左ノ表決ヲ取ル

齋藤珪次君ノ動議ヲ採用スヘシ

否決

井上角五郎君ノ動議ヲ採用スヘシ

可決

議長ハ地租條例改正案審査特別委員ノ選擧ニ關スル左ノ二則ニ異議ノ有無ヲ諮フ

一　第二部第五部及第六部ハ期日ニ晩レテ投票ノ結果ヲ報告シタルヲ以テ其ノ投票ハ無效タルヘシ

一　第一部第三部第四部第七部第八部及第九部ノ報告ニ係ル投票總數總議員三分ノ一ニ充タサルヲ以テ其ノ選擧ハ無效タルヘシ

異議ナシ

請願委員長紫藤寛治君（百十番）ハ左ノ報告ヲナス

一　左ノ請願ハ請願委員會ニ於テ院議ニ付スルヲ要セサルモノト議決セリ

地價修正ニ關スル件　八通

藥品營業竝藥品取扱規則附則第四十三條改正ノ件　一通

琵琶湖開鑿運河通船ノ件　一通

酒造稅則改正ノ件　一通

酒造稅特別免除ノ件　一通

棉花輸入稅竭免ノ件　一通

菓子稅則廢止ノ件　一通

一　左ノ請願ハ請願委員會ニ於テ議院法第六十三條第二項ニ依リ却下スヘキモノト議決セリ

衆議院規則第百八十三條改正ノ件　一通

一　左ノ請願ハ請願委員會ニ於テ院議ニ付スヘキモノト議決セリ

皇漢醫道繼續ノ件　一通

議長ハ次回ノ議事日程ヲ報告シテ散會セシム時ニ午後三時五

分ナリ

衆議院議事錄

第三卷　第十二

衆議院議事錄第三卷第十二

明治二十五年五月二十四日(火曜日)

午後一時開場

出席政府委員

西村農商務次官

河津遞信次官

議長ハ書記官長ヲシテ左ノ報告ヲ朗讀セシム

一　田中正造君ヨリ足尾銅山鑛毒加害ノ件、竝ニ北海道幌內郁春別鐵道及炭鑛ニ關スル件、炭鑛鐵道會社線路變更ニ關スル件、神戸造船所ニ關スル件、釜石鑛山ニ關スル件、阿仁及院內鑛山ニ關スル件、小坂銀山ニ關スル件、加藤淳造君ヨリ炭鑛鐵道ニ關スル件、島田三郎君ヨリ停會ノ件ニ付政府ニ質問ヲ提出セラレタリ

一　野口毅君加藤政之助君ヨリ保安條例廢止案ヲ、朝長愼三君福田久松君加藤平四郎君加藤六藏君ヨリ府縣制改正法案ヲ、鳩山和夫君元田肇君三崎龜之助君佐々田懋君鈴木萬次郎君關直彥君高田早苗君ヨリ民法商法商法施行條例及法例施行期限延期法律案ヲ提出セラレタリ

一　昨日ノ決議ニ係ル特別委員ノ當選者ハ左ノ如シ

地租條例改正案審査特別委員

渡邊　徹君
由雄與三平君
廣瀬貞文君
北岡文兵衛君
窪田畔夫君
後藤敬君

府縣監獄費及府縣監獄建築修繕費國庫支辨ニ關スル法律案審査特別委員

小崎義明君
田中源太郎君
伊東祐賢君
尾崎行雄君
守野爲五郎君
中野武營君
朝長愼三君
田艇吉君
東一郎君
加藤六藏君
平林九兵衛君
森

川島宇一郎君
登記法改正法律案審査特別委員
野出鎗三郎君
榊喜洋芽君
小林乾一郎君
立石岐君
松村文次郎君
關直彦君
淺香克孝君
佐々木松坪君
丸山名政君

一 波多野傳三郎君外七名ノ提出ニ係ル地租條例改正案、佐々田懋君外二名ノ提出ニ係ル地所建物船舶登記法改正法律案ハ各〻右特別委員ニ付託セリ

議長ハ議事ヲ開ク旨ヲ宣告ス

島田三郎君（百五十一番）ハ其ノ政府ニ提出シタル停會ノ件ニ關スル質問ノ趣旨ヲ演說ス

田中正造君（三十一番）ハ其ノ政府ニ提出シタル北海道幌内郁春別鐵道及炭鑛ニ關スル件、炭鑛鐵道會社線路變更ニ關スル件、神戸造船所ニ關スル件、釜石鑛山ニ關スル件、阿仁及院内鑛山ニ關スル件、小坂銀山ニ關スル件竝ニ足尾銅山鑛毒加害ノ件ニ關スル質問ノ趣旨ヲ演說ス

議長ハ豫算委員長佐藤昌藏君及岐阜愛知二縣下震災救濟及河川堤防工事費明治二十四年度豫算外支出ノ件審査特別委員長鈴木重遠君ヨリノ請求ニ基キ本日ヨリ開會中ト雖モ會議ニ列席セサルコトヲ同委員ニ許可スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ議事日程ニ掲載シタル衆議院議員選擧法改正案（加藤平四郎君外四名提出）ノ第一讀會ヲ開ク旨及其ノ朗讀ハ之ヲ省略スル旨ヲ宣告ス

本案提出議員加藤平四郎君（二百三十二番）ハ本案ノ趣旨ヲ辯明ス

渡邊洪基君（四十一番）竹村藤兵衞君（百七十四番）ハ反對、立川雲平君（二百六十七番）丸山名政君（百九十八番）ハ左ノ動議ヲ提出ス

討論ヲ終局スヘシ

可決

山田東次君ハ左ノ動議ヲ提出ス

特別委員ヲ設ケテ本案ノ審査ヲ付託スヘシ其ノ選擧ハ各部ニ於テ之ヲ爲シ全體ニ付テ其ノ結果ヲ通算スヘシ

末松謙澄君（二百六十九番）ハ左ノ動議ヲ提出ス

特別委員ヲ設ケテ本案ノ審査ヲ付託スルニハ左ノ條件ヲ訓令スヘシ

第一　選擧區畫ハ現行法ノ儘ニスルコト

第二　納稅資格ハ現行法ノ儘ニスルコト

議長ハ左ノ表決ヲ取ル

末松謙澄君ノ動議ヲ採用スヘシ

否決

山田東次君ノ動議ヲ採用スヘシ

議長ハ否決ノ宣告ヲナシタルニ異議ノ申立アリタルヲ以テ氏名點呼ヲ行ハシム

出席總數　二百六十二名

可トスル者　百二十二名

否トスル者

否決

議長ハ左ノ表決ヲ取ル

本案ノ第二讀會ヲ開クヘシ

否決

議長ハ議事日程ニ揭載シタル衆議院規則追加ノ件（佐々木正藏君提出緊急事件）ヲ會議ニ付スル旨ヲ宣告シ書記官ヲシテ之ヲ朗讀セシム

本案提出議員佐々木正藏君（百八十八番）ハ本案ノ趣旨ヲ辯明ス

橋本久太郎君（七十四番）ハ反對、佐々木善右衞門君（二百二七番）ハ贊成ノ演說ヲナス

天埜伊左衞門君（二十七番）ハ左ノ動議ヲ提出ス

討論ヲ終局スヘシ

否決

高須峰造君（二百九番）ハ反對ノ演說ヲナス

片岡直溫君（百八十一番）ハ左ノ修正動議ヲ提出ス

本件中「第五十二條」ノ五字ヲ削リ「第二十九條」ノ五字ヲ插入スヘシ

山田泰造君（百十三番）ハ左ノ動議ヲ提出ス

討論ヲ終局スヘシ

可決

議長ハ討論終局後渡邊洪基君（四十一番）ヨリ特別委員ヲ設ケテ本件ノ審查ヲ付託スヘシトノ動議ヲ提出シ異議アリタルヲ以テ左ノ表決ヲ取ル

討論終局ノ後ト雖モ特別委員付託ノ動議ヲ提出スルコトヲ得ヘシ

否決

議長ハ左ノ表決ヲ取ル

片岡直溫君ノ修正動議ヲ採用スヘシ

否決

議長ハ時已ニ定刻ニ迫レルモ尚ホ引續キ議事ヲ開ク旨ヲ宣告ス

議長ハ左ノ表決ヲ取ル

原案ヲ採用スヘシ

議長ハ否決ノ宣告ヲナシタルニ異議ノ申立アリタルヲ以テ氏名點呼ヲ行ハシム

出席總數　二百五十二名

可トスル者　百十九名

否トスル者　百三十三名

否決

議長ハ元田肇君ヨリ病氣ノ爲十日間ノ請暇書ヲ提出シタル旨ヲ告ケ之ヲ許可スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ次回ノ議事日程ヲ報告シテ散會セシム時ニ午後六時二十五分ナリ

衆議院議事錄

第三卷　第十三

衆議院議事錄第三卷第十三

明治二十五年五月二十五日(水曜日)

午後一時開場

議長ハ書記官長ヲシテ左ノ報告ヲ朗讀セシム

一　第三回帝國議會々期及明治二十五年度豫算案ノ件ニ關スル山田東次君ノ質問ニ對シ松方內閣總理大臣ヨリ答辯書ヲ受領シタリ

一　登記法改正法律案審査特別委員長ニ佐々木松坪君同理事ニ野出鍋三郎君、府縣監獄費及府縣監獄建築修繕費國庫支辨ニ關スル法律案審査特別委員長ニ中野武營君同理事ニ森東一郎君、地租條例改正案審査特別委員長ニ伊東祐賢君同理事ニ廣瀨貞文君當選セラレタリ

議長ハ議事日程ニ揭載シタル出版法案第一讀會ノ續會ヲ開ク

旨ヲ宣告ス

出版法案及版權法案審査特別委員長末松謙澄君二百六十九番ハ出版法案ニ關スル審査ノ經過及結果ヲ報告ス

議長ハ討論ナキヲ認メ左ノ表決ヲ取ル

本案ノ第二讀會ヲ開クヘシ

可決

波多野傳三郎君百十八番ハ左ノ動議ヲ提出ス

直ニ本案ノ第二讀會ヲ開クヘシ

否決

議長ハ議事日程ニ揭載シタル版權法案第一讀會ノ續會ヲ開ク旨ヲ宣告ス

出版法案及版權法案審査特別委員長末松謙澄君二百六十九番ハ版權法案ニ關スル審査ノ經過及結果ヲ報告ス

議長ハ討論ナキヲ認メ左ノ表決ヲ取ル

本案ノ第二讀會ヲ開クヘシ

可決

波多野傳三郎君百十八番ハ左ノ動議ヲ提出ス

直ニ本案ノ第二讀會ヲ開クヘシ

否決

議長ハ議事日程ニ揭載シタル海關稅法案（神鞭知常君外三名提出）ノ第一讀會ヲ開ク旨及其ノ朗讀ハ之ヲ省略スル旨ヲ宣告ス

本案提出議員安部井磐根君百七十七番神鞭知常君三百七番ハ本案ノ趣旨ヲ辯明ス

小倉良則君二百十一番ハ左ノ動議ヲ提出ス

特別委員ヲ設ケテ本案ノ審査ヲ付託スヘシ其ノ選擧ハ各部ニ於テ之ヲナシ全體ニ付テ其ノ結果ヲ通算スヘシ

可決

議長ハ次回ノ議事日程ヲ報告シテ散會セシム時ニ午後三時二十分ナリ

衆議院議事錄

第三卷　第十四

衆議院議事録第三卷第十四

明治二十五年五月二十六日（木曜日）

午後一時開場

出席國務大臣

副島内務大臣

出席政府委員

白根内務次官

渡邊大藏次官

辻　文部次官

西村農商務次官

野田陸軍監督長

議長ハ書記官長ヲシテ左ノ報告ヲ朗讀セシム

一　農商務省鑛山局長和田維四郎君ハ農商務省所管事務政

府委員仰付ヲレタル旨松方内閣總理大臣ヨリ通牒アリタリ

一　衆議院議員選擧ニ關スル丸山名政君外二名ノ質問ニ對シ副島内務大臣ヨリ帝國議會停會ノ理由ニ關スル島田三郎君ノ質問ニ對シ政府ヨリ答辯書ヲ受領シタリ

一　鈴木昌司君三崎龜之助君加藤平四郎君鵜飼郁次郎君稻垣示君島田三郎君尾崎行雄君ヨリ條約改正上奏案ヲ、矢島八郎君太田實君中澤彦吉君ヨリ商法審査ニ關スル動議ヲ提出セラレタリ

議長ハ議事ヲ開ク旨ヲ宣告ス

議長ハ鐵道公債法案及私設鐵道買收法案審査特別委員長佐藤里治君ヨリノ請求ニ基キ本日ヨリ開會中ト雖モ會議ニ列席セサルコトヲ同委員ニ許可スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ議事日程ニ揭載シタル明治二十四年勅令第四十六號（政府提出）ヲ會議ニ付スル旨ヲ告ケ書記官ヲシテ之ヲ朗讀セシム

副島内務大臣ハ本件ノ趣旨ヲ辯明ス

野出鍋三郎君（四十九番）ハ左ノ動議ヲ提出ス

本號ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ハ各部ニ於テ選擧シ全體ニ付テ其ノ結果ヲ通算スヘシ

議長ハ野出鍋三郎君ノ動議ヲ採用スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ議事日程ニ揭載シタル保安條例廢止案（野口駿君外一名提出）ノ第一讀會ヲ開ク旨ヲ宣告シ書記官ヲシテ之ヲ朗讀セシム

本案提出議員野口駿君（二百九番）加藤政之助君（百三十八番）ハ本案ノ趣旨ヲ辯明ス

白根内務次官大垣兵次君（二百七十八番）ハ反對、橋本久太郎君（七十四番）ハ賛成ノ演說ヲナス

都崎秀太郎君（二百十八番）ハ左ノ動議ヲ提出ス

討論ヲ終局スヘシ

可決

加藤六藏君（二百三十四番）ハ左ノ動議ヲ提出ス

本案ニ付テハ讀會ノ順序ヲ省略シ直ニ確定決議ヲナスヘシ

可決

議長ハ左ノ表決ヲ取ル

本案ヲ確定決議トシテ採用スヘシ

可決

議長ハ議事日程ヲ議了シタル後豫算委員長佐藤昌藏君ヨリ審査ノ經過及結果ヲ報告セラルヽ旨ヲ告ク

議長ハ角田眞平君（二百三十五番）ヨリ議事日程ニ揭載シタル第四第五ノ順序ヲ變更スルノ請求アリタルニ付之ヲ許可スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ議事日程ニ揭載シタル特別市制撤去法案（坂本則美君外三名提出）ノ第一讀會ヲ開ク旨ヲ宣告シ書記官ヲシテ之ヲ朗讀セシム

本案提出議員坂本則美君（二百九十一番）ハ本案ノ趣旨ヲ辯明ス

井上角五郎君（七十六番）ハ左ノ動議ヲ提出ス

本案ニ付テハ讀會ノ順序ヲ省略シ直ニ確定決議ヲナスヘシ

可決

議長ハ本案ヲ確定決議トシテ採用スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ議事日程ニ揭載シタル市制追加法案（坂本則美君外三名提出）ノ第一

讀會ヲ開ク旨ヲ宣告シ書記官ヲシテ之ヲ朗讀セシム

本案提出議員坂本則美君（二百九十一番）ハ本案趣旨ノ辯明ヲ省略スル旨ヲ述フ

井上角五郎君（七十六番）ハ左ノ動議ヲ提出ス

本案ニ付テハ讀會ノ順序ヲ省略シ直ニ確定決議ヲナスヘシ

可決

議長ハ本案ヲ確定決議トシテ採用スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ議事日程ニ揭載シタル移民地探檢費ニ關スル建議案（加藤平四郎君外一名提出）ヲ議事ニ付スル旨ヲ宣告シ書記官ヲシテ之ヲ朗讀セシム

本案提出議員加藤平四郎君（二百三十二番）ハ本案ノ趣旨ヲ辯明ス

高梨哲四郎君（百八番）ハ反對、井上角五郎君（七十六番）ハ贊成ノ演說ヲナス

議長ハ討論盡キタルヲ認メ左ノ表決ヲ取ル

本案ヲ採用スヘシ

否決

豫算委員長佐藤昌藏君（百六十八番）ハ審査ノ經過及結果ヲ報告ス

議長ハ出版法案ノ第二讀會ヲ明日ノ議事日程ニ揭載スルニハ定規ノ時間ヲ經過セサルモノヲ之ヲ揭載スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ書記官長ヲシテ左ノ報告ヲ朗讀セシム

一　海關稅法案審査特別委員ノ當選者ハ左ノ如シ

神鞭知常君

江原素六君

山田泰造君
中島祐八君
高瀬藤次郎君
鈴木萬次郎君
坂本則美君
有友正親君
鳩山和夫君

議長ハ次回ノ議事日程ヲ報告シテ散會セシム時ニ午後四時四十五分ナリ

衆議院議事錄

第三卷　第十五

衆議院議事錄第三卷第十五

明治二十五年五月二十七日(金曜日)

午後一時開場

議長ハ書記官長ヲシテ左ノ報告ヲ朗讀セシム

一　島田三郎君河野廣中君ヨリ民法中一部延期ニ關スル法律案ヲ提出セラレタリ

一　海關稅法案審査特別委員長ニ高瀨藤次郎君同理事ニ鈴木萬次郎君當選セラレタリ

一　明治二十四年勅令第四十六號審査特別委員ノ當選者ハ左ノ如シ

岩城　隆　常君

山口千代作君

古谷新作君

原亮三郎君
長野一誠君
宮城浩藏君
兒山陶君
香月恕經君
坂本則美君

議長ハ議事ヲ開ク旨ヲ宣告ス

議長ハ橋本次六君ヨリ病氣ノ爲二週間ノ請暇書ヲ提出シタル旨ヲ告ケ之ヲ許可スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ出版法案ニ付テハ委員會ニ於テ原案ト定メタルモノヲ以テ原案トスルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

三崎龜之助君（百三十八番）ハ左ノ動議ヲ提出ス

同一ノ性質ヲ有スル議員提出ノ數議案ヲ同一特別委員ニ付託シタル場合ニハ委員ノ報告ニ係ルモノヲ以テ原案ト定メ他ノ議案ハ消滅シタルモノトス

同一委員ニ付託シタル數議案中政府又ハ貴族院提出ノ議案アルトキハ其ノ議案ヲ以テ原案ト定ム

魚住逸治君（十五番）加藤平四郎君（二百三十二番）ハ反對、立入奇一君（四十二番）ハ

贊成ノ演說ヲ爲ス

議長ハ討論盡キタルヲ認メ左ノ表決ヲ取ル

三崎龜之助君ノ動議ヲ採用スヘシ

否決

議長ハ議事日程ニ揭載シタル出版法案ノ第二讀會ヲ開ク旨ヲ宣告シ第一條ヲ議題トナシ書記官ヲシテ之ヲ朗讀セシム

議長ハ討論ナキヲ認メ原案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ第二條ヲ議題トナシ書記官ヲシテ之ヲ朗讀セシム

黒田綱彦君（二百三番）ハ左ノ修正動議ヲ提出ス

但書中「廣告」ノ二字ヲ削ルヘシ

末松謙澄君（二百六十九番）ハ黒田綱彦君ノ修正動議ニ反對ノ演說ヲナス

議長ハ討論盡キタルヲ認メ左ノ表決ヲ取ル

黒田綱彦君ノ修正動議ヲ採用スヘシ

否決

原案ヲ採用スヘシ

可決

議長ハ第三條ヲ議題トナシ書記官ヲシテ之ヲ朗讀セシム

黒田綱彦君（二百三番）ハ左ノ修正動議ヲ提出ス

特別委員ノ修正案中「發行以前ニ管轄廳（東京府ヲ除ク）ヲ經テ」ノ十七字ヲ削リ「發行三日前（繪畫類ニアリテハ二十四時間前）ニ管轄廳（東京府ヲ除ク）ヲ經テ」ノ三十二字ヲ挿入スヘシ

議長ハ討論ナキヲ認メ左ノ表決ヲ取ル

黒田綱彦君ノ修正動議ヲ採用スヘシ

否決

特別委員ノ修正案ヲ採用スヘシ

可決

議長ハ第四條ヲ議題トナシ書記官ヲシテ之ヲ朗讀セシム

議長ハ討論ナキヲ認メ原案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ第五條ヲ議題トナシ書記官ヲシテ之ヲ朗讀セシム

黒田綱彦君（二百三番）ハ左ノ修正動議ヲ提出ス

第一項但書中「又ハ發行者」ノ五字ヲ削ルヘシ

末松謙澄君（二百十九番）ハ黒田綱彦君ノ修正動議ニ反對ノ演說ヲナス

田中鳥雄君（五十九番）ハ左ノ修正動議ヲ提出ス

末項ノ第二行中「其學校會社」ノ下「協會」ノ二字ヲ加フヘシ

議長ハ討論盡キタルヲ認メ左ノ表決ヲ取ル

黒田綱彦君ノ修正動議ヲ採用スヘシ

否決

田中鳥雄君ノ修正動議ヲ採用スヘシ

可決

議長ハ第六條第七條ヲ聯貫シテ議題トナシ書記官ヲシテ之ヲ朗讀セシム

議長ハ討論ナキヲ認メ左ノ表決ヲ取ル

原案ヲ採用スヘシ

可決

議長ハ第八條ヲ議題トナシ書記官ヲシテ之ヲ朗讀セシム

末松謙澄君（二百十九番）ハ左ノ動議ヲ提出ス

決議ノ結果ヨリ生スル條項ノ整頓ハ議長ニ委任スヘシ

議長ハ末松謙澄君ノ動議ニ對シ異議ナケレハ之ヲ採用スル旨ヲ宣告ス

黒田綱彦君（二百三番）ハ左ノ修正動議ヲ提出ス

特別委員ノ修正案中「書簡」ノ上ニ「政治ニ關セサル」ノ七字ヲ加ヘ「報告」ノ下ニ「又ハ」ノ二字ヲ加フヘシ

議長ハ討論ナキヲ認メ左ノ表決ヲ取ル

黒田綱彦君ノ修正動議ヲ採用スヘシ

否決

特別委員ノ修正案ヲ採用スヘシ

可決

議長ハ第九條ヲ議題トナシ書記官ヲシテ之ヲ朗讀セシム

黒田綱彦君二百三番ハ左ノ修正動議ヲ提出ス

第二項ヲ削リ左ノ一項ヲ挿入スヘシ

前項ノ許可ヲ得タル雜誌ニシテ十二个月間一回ヲモ發行セサルトキハ廢刊シタルモノト看做スヘシ

議長ハ討論ナキヲ認メ左ノ表決ヲ取ル

黒田綱彦君ノ修正動議ヲ採用スヘシ

否決

特別委員ノ修正案ヲ採用スヘシ

可決

議長ハ第十條ヲ議題トナシ書記官ヲシテ之ヲ朗讀セシム

議長ハ討論ナキヲ認メ原案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ第十一條第十二條第十三條第十四條ヲ聯貫シテ議題トナシ書記官ヲシテ之ヲ朗讀セシム

議長ハ討論ナキヲ認メ第十一條第二項第十四條ニ付テハ特別委員ノ修正案、第十一條第一項及第十二條第十三條ニ付テハ原案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ第十五條第十六條第十七條第十八條第十九條ヲ聯貫シ

テ議題トナシ書記官ヲシテ之ヲ朗讀セシム

兒山陶君（二百二番）植田理太郎君（百四十番）ハ第十五條第二項ニ對シ原案贊成ノ演說ヲナス

議長ハ討論盡キタルヲ認メ第十五條第二項ニ付左ノ表決ヲ取ル

特別委員ノ修正案ヲ採用スヘシ

可決

議長ハ第十五條第一項及第十六條第十七條第十八條ニ付テハ原案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ第十九條ニ付左ノ表決ヲ取ル

特別委員ノ修正案ヲ採用スヘシ

可決

議長ハ第二十條ヲ議題トナシ書記官ヲシテ之ヲ朗讀セシム

議長ハ討論ナキヲ認メ第十九條ノ次ニ一條ヲ加フル特別委員ノ修正案竝ニ第二十條ニ付テハ原案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ第二十一條ヨリ第三十四條マテヲ聯貫シテ議題トナス」

議長ハ討論ナキヲ認メ左ノ表決ヲ取ル

第二十一條第二十四條第二十五條第二十六條第三十條第三十一條第三十三條ニ付テハ特別委員ノ修正案及其ノ他修正案ナキ諸條項ニ付テハ原案ヲ採用スヘシ

可決

議長ハ第三十五條第三十六條第三十七條ヲ聯貫シテ議題トナス

議長ハ討論ナキヲ認メ第三十五條第三十六條ニ付テハ特別委員ノ修正案第三十七條ニ付テハ原案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

魚住逸治君（十番）十五ハ左ノ動議ヲ提出ス

直ニ本案ノ第三讀會ヲ開クヘシ

可決

議長ハ本案ノ第三讀會ヲ開ク旨及其ノ朗讀ハ之ヲ省略スル旨ヲ宣告ス

議長ハ本案提出議員末松謙澄君（二百六十九番）ヨリ第十一條第一項中「演説者若クハ講義者」ノ下「ヽ」字ヲ脫落シタル旨ヲ述ヘタルニ異議ノ申立ヲナス者ナキヲ以テ之ヲ許可ス

議長ハ討論ナキヲ認メ左ノ表決ヲ取ル

本案ヲ採用スヘシ

可決

議長ハ議事日程ニ掲載シタル版權法案ノ第二讀會ヲ開ク旨ヲ宣告シ第一條ヨリ第六條マテヲ聯貫シテ議題トナス

議長ハ討論ナキヲ認メ第二條第三條第一項第三項ニ付テハ特別委員ノ修正案第一條第三條第二項第四條第五條第六條ニ付テハ原案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ第七條ヲ議題トナス

黒田綱彦君（二百三番）ハ左ノ修正動議ヲ提出ス

第七條第一項但書ヲ削リ左ノ一項ヲ挿入スヘシ

但公開ノ席ニ於テ爲シタル講義若クハ演説ヲ筆記シテ出版スルモノハ版權侵害ト認ムルノ限ニアラス

末松謙澄君二百六十九番ハ黒田綱彦君ノ修正動議ニ反對、山田泰造君百十三番ハ贊成ノ演說ヲナス

議長ハ討論盡キタルヲ認メ便宜ノ爲メ先ツ第一項但書中「演說若クハ講義ノ七字ヲ削リ「講義若クハ演說」ノ七字ヲ插入スル黒田綱彦君ノ修正動議ヲ採用スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ左ノ表決ヲ取ル

黒田綱彦君ノ修正動議ヲ採用スヘシ

可決

議長ハ第八條第九條第十條ヲ聯貫シテ議題トナシ討論ナキヲ認メ原案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ第十一條ヲ議題トナシ討論ナキヲ認メ特別委員ノ修正案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ第十二條第十三條第十四條ヲ聯貫シテ議題トナシ討論ナキヲ認メ原案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ第十五條ヲ議題トナシ討論ナキヲ認メ特別委員ノ修正案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ第十六條第十七條第十八條ヲ聯貫シテ議題トナシ討論ナキヲ認メ原案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ第十九條ヲ議題トナス

末松謙澄君二百六十九番ハ左ノ修正動議ヲ提出ス

「他人ノ講義又ハ公然ナラサル席ニ於テナシタル他人ノ講義又ハ演説」ノ二十三字ヲ挿入スヘシ

佐々木善右衛門君二百二十七番ハ末松謙澄君ノ修正動議ニ賛成ノ演説ヲナス

議長ハ黒田綱彦君二百三番ヨリ其ノ提出ニ係ル第二項但書ニ對スル左ノ修正動議ハ之ヲ撤回スルノ請求ヲナシタルヲ以テ之ヲ許可ス

但公開ノ席ニ於テ爲シタル講義若クハ演説ヲ筆記シテ出版シタルモノハ此限ニアラス

議長ハ討論盡キタルヲ認メ左ノ表決ヲ取ル

末松謙澄君ノ修正動議ヲ採用スヘシ

可決

議長ハ第二十條第二十一條ヲ議題トナシ討論ナキヲ以テ原案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ第二十二條ヲ議題トナス

黒田綱彦君二百三番ハ左ノ修正動議ヲ提出ス

本條ニ左ノ一項ヲ加フヘシ

神社寺院祠宇佛堂ノ管理者ノ承諾ヲ經スシテ其神社寺院祠宇佛堂ニ屬スル神佛ノ守札又ハ守札ニ準スヘキモノヲ出版スルモノ亦前項ニ同シ

佐々木善右衛門君二百十七番ハ鳩山和夫君二百八十七番ハ黒田綱彦君ノ修正動議ニ反對ノ演説ヲナス

議長ハ討論盡キタルヲ認メ第一項ニ付テハ特別委員ノ修正案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ左ノ表決ヲ取ル

黒田綱彦君ノ修正動議ヲ採用スヘシ

否決

議長ハ第二十三條ヨリ第三十二條マテヲ聯貫シテ議題トナス」

加藤勝彌君（百四十六番）ハ左ノ修正動議ヲ提出ス

第二十七條中「貳拾圓以上」ノ五字ヲ削リ「三拾圓以上」ノ五字ヲ挿入スヘシ

議長ハ討論ナキヲ認メ第二十七條ニ付左ノ表決ヲ取ル

加藤勝彌君ノ修正動議ヲ採用スヘシ

可決

議長ハ第二十七條ヲ除キ其ノ他ノ條項ニ付テハ原案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

橋本久太郎君（七十四番）ハ左ノ動議ヲ提出ス

直ニ本案ノ第三讀會ヲ開クヘシ

議長ハ左ノ表決ヲ採用スヘシ

橋本久太郎君ノ動議ヲ採用スヘシ

否決

議長ハ議事日程ニ掲載シタル郡制改正法律案（工藤行幹君外二名提出）ノ第一讀會ヲ開ク旨及其ノ朗讀ハ之ヲ省略スル旨ヲ宣告ス

本案提出議員工藤行幹君（百六十六番）ハ本案ノ趣旨ヲ辯明ス

小野隆助君（二十四番）佐々木善右衛門君（二百二十七番）ハ反對、福田久松君（二百八十四番）ハ贊成ノ演說ヲナス

野出鍋三郎君（四十九番）ハ左ノ動議ヲ提出ス

特別委員ヲ設ケテ本案ノ審査ヲ付託スヘシ其ノ選擧ハ各部ニ於テ之ヲ爲シ全體ニ付テ其ノ結果ヲ通算スヘシ

立川雲平君（二百六十七番）ハ本案贊成ノ演説ヲナス

齋藤珪次君（二百七十三番）ハ左ノ動議ヲ提出ス

討論ヲ終局スヘシ

議長ハ齋藤珪次君ノ動議ヲ採用スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ左ノ表決ヲ取ル

野出鍋三郎君ノ動議ヲ採用スヘシ

可決

議長ハ次回ノ議事日程ヲ報告シテ散會セシム時ニ午後五時五分ナリ

衆議院議事錄

第三卷　第十六

衆議院議事錄第三卷第十六

明治二十五年五月二十八日(土曜日)

午後一時開場

出席國務大臣

松方內閣總理大臣兼大藏大臣

大木文部大臣

榎本外務大臣

樺山海軍大臣

田中司法大臣

副島內務大臣

出席政府委員

白根內務次官

渡邊大藏次官

議長ハ書記官長ヲシテ左ノ報告ヲ朗讀セシム

一　岐阜愛知兩縣震災救濟及河川堤防竝震災土木補助費ニ關スル齋藤珪次君外二名ノ質問ニ對シ副島內務大臣ヨリ答辯書ヲ受領シタリ

岡澤陸軍次官
伊藤海軍次官
辻　文部次官
西村農商務次官
河津遞信次官
野田陸軍監督長
本宿海軍主計總監
松本鐵道廳部長
古市內務省土木局長

一　島田三郎君朝長愼三君渡邊又三郎君青山朗君ヨリ府縣制第二十七條修正法律案ヲ提出セラレタリ

一　明治二十四年勅令第四十六號審査特別委員長ニ坂本則美君同理事ニ兒山陶君當選セラレタリ

一　郡制改正法律案審査特別委員ノ當選者ハ左ノ如シ

丹後直平君
菊池九郎君
竹內鼎三君
立入奇一君
井上彥左衞門君
本山健治君
新井章吾君
山本登君

藤澤幾之輔君

議長ハ議事ヲ開ク旨ヲ宣告ス

白根内務次官ハ岐阜愛知兩縣震災救濟及河川堤防竝震災土木補助費ニ關スル齋藤珪次君外二名ノ質問ニ關シ演說ス

議長ハ議事日程ニ揭載シタル明治二十五年度豫算追加案ノ大體議ヲ開ク旨ヲ宣告シ書記官ヲシテ之ヲ朗讀セシム

議長ハ討論ナキヲ認メ豫算追加案ノ議事ハ先例ニ依リ歲出ヲ先ニスル旨ヲ宣告シ内務省所管第三款ヲ議題トナシ書記官ヲシテ之ヲ朗讀セシム

今井磯一郎君（百九十番）ハ内務省所管全體ニ付豫算委員ノ修正案ヲ維持スルノ演說ヲナス

議長ハ討論盡キタルヲ認メ第三款ニ付左ノ表決ヲ取ル

原案ヲ採用スヘシ

可決

議長ハ内務省所管第十五款ヲ議題トナシ書記官ヲシテ之ヲ朗讀セシム

議長ハ討論ナキヲ認メ第十五款第一項第二項第四項ニ付テハ豫算委員ノ修正案第三項ニ付テハ原案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ内務省所管第十六款ヲ議題トナシ書記官ヲシテ之ヲ朗讀セシム

議長ハ討論ナキヲ認メ第十六款第一項第三項第四項ニ付テハ豫算委員ノ修正案第二項ニ付テハ原案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ大藏省所管第三款ヲ議題トナシ其ノ朗讀ハ之ヲ省略スル旨ヲ宣告ス

湯淺治郎君（百二十番）ハ大藏省所管全體ニ付豫算委員ノ修正案ヲ維持スルノ演說ヲナス

山口千代作君（五十六番）ハ第三款第二項ニ付原案ニ反對、曾禰荒助君（百二番）渡邊大藏次官佐々木善右衞門君（二百十七番）立入奇一君（四十二番）ハ

贊成ノ演說ヲナス

議長ハ討論ナキヲ認メ第三款第二項ニ付左ノ表決ヲ取ル

原案ヲ採用スヘシ

否決

議長ハ第三款第三項第四項ニ付テハ原案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ第三款營繕費ニ付テハ豫算委員ノ修正案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ陸軍省所管第一款ヲ議題トナシ書記官ヲシテ之ヲ朗讀セシム

和田彦次郎君（三十八番）ハ陸軍省所管全體ニ付豫算委員ノ修正案ヲ維持スルノ演說ヲナス

尾崎行雄君（五番）ハ左ノ動議ヲ提出ス

特別委員ヲ設ケテ陸軍省所管第一款第二款ノ審査ヲ付託シ本日ヨリ三日ヲ期シテ報告セシムヘシ其ノ選擧ハ各部ニ於テ之ヲ爲シ全體ニ付テ其ノ結果ヲ通算スヘシ

渡邊大藏次官、渡邊洪基君（四十一番）三崎龜之助君（百三十五番）ハ尾崎行雄君ノ動議ニ反對、末松謙澄君（二百六十九番）島田三郎君（百五十一番）ハ贊成ノ

演說ヲナス

島田三郎君百五十八番左ノ動議ヲ提出ス

討論ヲ終局スヘシ

議長ハ島田三郎君ノ動議ヲ採用スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ左ノ表決ヲ取ル

尾崎行雄君ノ動議ヲ採用スヘシ

議長ハ否決ノ宣告ヲナシタルニ異議ノ申立アリタルヲ以テ氏名點呼ヲ行ハシム

議長ハ時已ニ定刻ニ迫レルモ尚ホ引續キ議事ヲ開ク旨ヲ宣告ス

氏名點呼ノ結果左ノ如シ

出席總數　二百七十七名

可トスル者　百三十一名

否トスル者　百四十六名

否決

議長ハ次回ノ議事日程ヲ報告シテ散會セシム時ニ午後六時二十五分ナリ

衆議院議事錄

第三卷　第十七

明治二十五年五月三十日(月曜日)

午後一時開場

出席國務大臣

樺山海軍大臣

副島內務大臣

出席政府委員

白根內務次官

渡邊大藏次官

岡澤陸軍次官

伊藤海軍次官

三好司法次官

辻文部次官

議長ハ書記官長ヲシテ左ノ報告ヲ朗讀セシム

一　明治二十四年三月三十一日各省所管官有財産現在高目錄ヲ政府ヨリ送付セラレタリ

一　井上角五郎君藥袋義一君ヨリ國庫剩餘ノ處分ニ關スル建議案ヲ提出セラレタリ

一　民法商法施行延期法律案ヲ貴族院ヨリ送付セラレタリ

一　郡制改正法案審査特別委員長ニ立入奇一君同理事ニ竹内鼎三君當選セラレタリ

議長ハ議事ヲ開ク旨ヲ宣告ス

西村農商務次官
河津遞信次官
野田陸軍監督長
本宿海軍主計總監

請願委員長紫藤寛治君百十番ハ左ノ報告ヲナス

一　左ノ請願ハ請願委員會ニ於テ院議ニ付スヘキモノト議決セリ

綿絲輸出稅竝免ノ件　一通

一　左ノ請願ハ請願委員會ニ於テ院議ニ付スルヲ要セサルモノト議決セリ

特別地價修正動議案ニ對スル件　一通
地租輕減ノ件　一通
菓子稅則廢止ノ件　一通
地價修正ノ件　二十五通
輸出稅全廢ノ件　一通
北陸鐵道官設ノ件　一通
選擧干渉ノ件　二通

蠶業保護ノ件　一通
信越鐵道延長ノ件　一通
小作法ヲ設クル件　一通
酒造稅免除ノ件　一通
嚴原市街宅地々目組換ノ件　一通
自家用料醬油釀造取締ノ件　一通

一　左ノ請願ハ請願委員會ニ於テ院議ニ付スルヲ要セサルモノト審査シタルモ參考トシテ政府ヘ轉送スヘキモノト議決セリ　十一通

郡分合ニ關スル件

議長ハ議事日程ニ揭載シタル明治二十五年度豫算追加案ノ會議ヲ開ク旨ヲ宣告ス

湯淺治郎君（百二十番）ハ左ノ動議ヲ提出ス

明治二十五年度豫算追加案中東京灣砲臺建築費竝ニ兵器彈藥費ハ左ノ豫算金額ニ對スル款項ヲ區分シ及ヒ要求書等ヲ添ヘ更ニ議會ヘ提出センコトヲ政府ニ請求ス

東京灣砲臺建築費（既定ノ繼續費ヲ併セ）四一四、八〇〇、〇〇〇

○

兵器彈藥費（既定ノ繼續費ヲ合セ）一、五六二、〇七五、二二〇

議長ハ議員高田早苗君本日暴士ノ爲ニ難ニ遭ハレ本院ニ出席スルコト能ハサル旨及議長ヨリ慰問ノ爲メ使者ヲ遣ハシタル旨ヲ告ク

神鞭知常君（三百番）渡邊大藏次官田中源太郎君（二百九十二番）ハ湯淺治郎君ノ動議ニ反對、石田貫之助君ハ贊成ノ演說ヲナス

中澤彦吉君（十八番）ハ左ノ動議ヲ提出ス

討論ヲ終局スヘシ

可決

議長ハ左ノ表決ヲ取ル

湯淺治郎君ノ動議ヲ採用スヘシ

議長ハ否決ノ宣告ヲナシタルニ異議ノ申立アリタルヲ以テ氏名點呼ヲ行ハシム

出席總數　二百六十二名

可トスル者　百十九名

否トスル者　百四十三名

否決

議長ハ陸軍省所管歳出臨時部第一款ヲ議題トナス

議長ハ討論ナキヲ認メ原案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ陸軍省所管歳出臨時部第三款ヲ議題トナシ書記官ヲシテ之ヲ朗讀セシム

議長ハ討論ナキヲ認メ左ノ表決ヲ取ル

豫算委員ノ修正案ヲ採用スヘシ

可決

議長ハ陸軍省所管歳出臨時部第四款ヲ議題トナシ書記官ヲシテ之ヲ朗讀セシム

議長ハ討論ナキヲ認メ左ノ表決ヲ取ル

豫算委員ノ修正案ヲ採用スヘシ

可決

議長ハ陸軍省所管歳出臨時部第五款ヲ議題トナシ書記官ヲシテ之ヲ朗讀セシム

議長ハ討論ナキヲ認メ原案ニ可決シタルモノト認定スルニ異

議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ陸軍省所管歳出臨時部第六款ヲ議題トナシ書記官ヲシテ之ヲ朗讀セシム

議長ハ討論ナキヲ認メ原案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ陸軍省所管歳出臨時部第七款ヲ議題トナシ書記官ヲシテ之ヲ朗讀セシム

議長ハ討論ナキヲ認メ原案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ陸軍省所管歳出臨時部合計ヲ議題トナシ書記官ヲシテ

之ヲ朗讀セシム

議長ハ討論ナキヲ認メ右合計ハ修正ノ結果ナルヲ以テ豫算委員ノ修正案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ」

異議ナシ

議長ハ海軍省所管歳出臨時部第一款ヲ議題トナシ書記官ヲシテ之ヲ朗讀セシム

豫算委員主査大岡育造君（百五十四番）ハ海軍省所管全體ニ付詳細ノ報告ヲナス

伊藤海軍次官ハ原案ヲ維持スルノ演說ヲナス

尾崎行雄君（五番）ハ豫算委員少數者ノ意見ヲ演說ス

杉田定一君（二百三十八番）ハ豫算委員ノ修正案ニ反對、樺山海軍大臣本宿海軍主計總監ハ原案ヲ維持スルノ演說ヲナス

議長ハ時已ニ定刻ニ至レルモ尚ホ引續キ議事ヲ開ク旨ヲ宣告

ス

尾崎行雄君（五番）ハ豫算委員ノ修正案ニ反對、井上角五郎君（七十六番）ハ豫算委員ノ修正案ヲ維持スルノ演說ヲナス

山田東次君（百三番）ハ左ノ動議ヲ提出ス

討論ヲ終局スヘシ

可決

杉田定一君（二百十八番）ハ左ノ動議ヲ提出ス

本款ニ付テハ記名投票ヲ以テ表決スヘシ

早川龍介君（三十七番）ハ左ノ動議ヲ提出ス

本款ニ付テハ無名投票ヲ以テ表決スヘシ

議長ハ左ノ表決ヲ取ル

杉田定一君ノ動議ヲ採用スヘシ

可決

議長ハ記名投票ヲ以テ左ノ表決ヲ取ル

豫算委員ノ修正案ヲ採用スヘシ

出席總數　二百七十三名

可トスル者　百三十二名

否トスル者　百四十一名

否決

議長ハ原案ニ付テハ起立ヲ以テ表決ヲ取ル旨ヲ宣告シ左ノ表決ヲ取ル

原案ヲ採用スヘシ

議長ハ否決ノ宣告ヲナシタルニ異議ノ申立アリタルヲ以テ記名投票ヲ以テ表決ヲ取ル旨ヲ宣告シ左ノ表決ヲ取ル

原案ヲ採用スヘシ

出席總數　二百六十四名

可トスル者　百二十三名
否トスル者　百四十一名

否決

議長ハ次回ノ議事日程ヲ報告シテ散會セシム時ニ午後八時二十分ナリ

衆議院議事錄

第三卷　第十八

衆議院議事錄第三卷第十八

明治二十五年五月三十一日(火曜日)

午後一時開場

出席國務大臣

出席政府委員

副島內務大臣

渡邊大藏次官

岡澤陸軍次官

伊藤海軍次官

三好司法次官

辻　文部次官

西村農商務次官

河津遞信次官

議長ハ書記官長ヲシテ左ノ報告ヲ朗讀セシム

一　貴族院ハ鑛業條例施行期限法律案ニ關シ第二讀會ヲ開カサルコトヲ議決シタル旨同院ヨリ通牒アリタリ

一　原善三郎君松田源五郎君肥田景之君中澤彦吉君ヨリ銀行條例改正法律案ヲ提出セラレタリ

議長ハ議事ヲ開ク旨ヲ宣告ス

議長ハ議員高田早苗君ヨリ昨日ノ慰問ニ對シ使者ヲ以テ感謝ノ意ヲ表セラレタル旨ヲ告ク

議長ハ高田早苗君ヨリ負傷ノ爲二週間ノ請暇書ヲ提出シタル旨ヲ告ケ之ヲ許可スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

野田陸軍監督長
本宿海軍主計總監
松本鐵道廳部長

異議ナシ

議長ハ議事日程ニ揭載シタル明治二十五年度豫算追加案ノ會議ヲ開ク旨及海軍省所管歳出臨時部第六款ヲ議題トナス旨ヲ宣告シ書記官ヲシテ之ヲ朗讀セシム

本宿海軍主計總監ハ原案ヲ維持スルノ演說ヲナス

江原素六君（百七番）ハ原案ニ反對、大垣兵次君（二百七番）渡邊洪基君（四十八番）ハ贊成ノ演說ヲナス

一番

議長ハ討論盡キタルヲ認メ左ノ表決ヲ取ル

原案ヲ採用スヘシ

否決

議長ハ司法省所管歳出臨時部第二款ヲ議題トナシ書記官ヲシテ之ヲ朗讀セシム

豫算委員主査湯淺治郎君（百二十番）ハ豫算委員ノ修正案ニ關シ詳細

ノ報告ヲ爲スヲ要セサルヲ以テ之ヲ省略スル旨ヲ述フ

三好司法次官ハ原案ヲ維持スルノ演説ヲナス

議長ハ討論盡キタルヲ認メ第二款第二項第三項ニ付左ノ表決ヲ取ル

豫算委員ノ修正案ヲ採用スヘシ

可決

議長ハ第二款第四項ニ付テハ原案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ文部省所管歳出臨時部第二款ヲ議題トナシ書記官ヲシテ之ヲ朗讀セシム

辻文部次官ハ原案ヲ維持スルノ演説ヲナス

豫算委員主査今井磯一郎君（百十番）ハ豫算委員ノ修正案ニ付詳細ノ報告ヲナス

太田實君（百十四番）

ハ原案ヲ贊成スルノ演説ヲナス

横井善三郎君（百八十五番）

討論ヲ終局スヘシ

議長ハ横井善三郎君ノ動議ヲ採用スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ左ノ表決ヲ取ル

原案ヲ採用スヘシ

否決

議長ハ文部省所管歳出臨時部第三款ヲ議題トナシ書記官ヲシテ之ヲ朗讀セシム

辻文部次官ハ原案ヲ維持スルノ演説ヲナス

早川龍介君（三十七番）

渡邊洪基君（四十一番）

津田眞道君（十六番）

豫算委員主査今井磯一郎君百九十番ハ豫算委員ノ修正案ニ付詳細ノ報告ヲナス

議長ハ討論盡キタルヲ認メ左ノ表決ヲ取ル

豫算委員ノ修正案ヲ採用スヘシ

可決

議長ハ遞信省所管歳出臨時部第三款全體ヲ議題トナシ書記官ヲシテ之ヲ朗讀セシム

豫算委員主査湯淺治郎君百二十番ハ豫算委員ノ修正案ニ付詳細ノ報告ヲナス

河津遞信次官ハ豫算委員ノ修正案ニ對シ演說ヲナス

議長ハ討論盡キタルヲ認メ第三款第二項ニ付テハ原案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ第三款第三項ニ付テハ豫算委員ノ修正案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ第三款第四項ニ付テハ後ニ提出セラレタル第三款第四項ヲ合セ表決ヲ取ル旨ヲ宣告シ書記官ヲシテ其ノ合計ヲ朗讀セシメ豫算委員ノ修正案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ第三款第五項ニ付テハ原案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ歳出臨時部合計ニ付テハ金額ニ多少ノ異動アルモ修正決議ノ結果ナルヲ以テ其ノ整理ヲ議長ニ委任スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ歳入臨時部全體ヲ議題トナシ書記官ヲシテ之ヲ朗讀セシム

議長ハ歳入臨時部ニ付テハ金額ニ多少ノ異動アルモ修正決議ノ結果ナルヲ以テ其ノ整理ヲ議長ニ委任スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ討論ナキヲ認メ豫算委員ノ修正案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ甲號歳入臨時部歳出臨時部全體ヲ確定會議ニ付スル旨ヲ宣告ス

議長ハ討論ナキヲ認メ左ノ表決ヲ取ル

逐項會議ニ於ケル決議ノ儘本案ヲ採用スヘシ

可決

議長ハ乙號第一、内務省所管歳出臨時部第十五款ヲ議題トナシ書記官ヲシテ之ヲ朗讀セシム

議長ハ討論ナキヲ認メ豫算委員ノ修正案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ第二、陸軍省所管歳出臨時部第一款ヲ議題トナシ書記官ヲシテ之ヲ朗讀セシム

議長ハ討論ナキヲ認メ原案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ第三、陸軍省所管歳出臨時部第三款ヲ議題トナシ書記官ヲシテ之ヲ朗讀セシム

議長ハ討論ナキヲ認メ豫算委員ノ修正案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ第四、陸軍省所管歳出臨時部第五款ヲ議題トナシ書記官ヲシテ之ヲ朗讀セシム

議長ハ討論ナキヲ認メ原案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ第五、陸軍省所管歳出臨時部第六款ヲ議題トナシ書記官ヲシテ之ヲ朗讀セシム

議長ハ討論ナキヲ認メ原案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ第六、海軍省所管歳出臨時部第一款ヲ議題トナス

議長ハ本款ニ付テハ甲號決議ノ結果ニ依リ之ヲ削除シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ第七、海軍省所管歳出臨時部第六款ヲ議題トナス

議長ハ本款ニ付テハ甲號決議ノ結果ニ依リ之ヲ削除シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スルモノヲ會議ニ付スル旨ヲ宣告シ第一ヲ議題トナス

豫算委員主査和田彦次郎君（三十八番）豫算委員ノ修正案ニ付詳細

ノ報告ヲナス

議長ハ討論ナキヲ認メ原案ニ可決シタルモノト認定スルニ異

議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ第二ヨリ第五マテヲ聯貫シテ議題トナス

議長ハ討論ナキヲ認メ原案ニ可決シタルモノト認定スルニ異

議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ第六ヲ議題トナシ書記官ヲシテ之ヲ朗讀セシム

今井磯一郎君（百十九番）ハ豫算委員少數者ノ意見ヲ演説ス

豫算委員主査湯淺治郎君（百十二番）ハ豫算委員ノ修正案ニ付詳細ノ報告ヲナス

植田清一郎君（二百九十五番）末松謙澄君（二百九十六番）ハ原案ニ贊成、西村農商

務次官ハ原案ヲ維持スルノ演説ヲナス

議長ハ討論盡キタルヲ認メ左ノ表決ヲ取ル

原案ヲ採用スヘシ

可決

議長ハ第七ヲ議題トナス

議長ハ討論ナキヲ認メ原案ニ可決シタルモノト認定スルニ異

議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ第八第九ヲ聯貫シテ議題トナス

議長ハ討論ナキヲ認メ原案ニ可決シタルモノト認定スルニ異

議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ第十ヲ議題トナス

中村彌六君ハ豫算委員ノ修正案ニ對シ左ノ修正動議ヲ提出ス

第八項中「壹名ハ明治二十六年八月一日ヨリ同二十八年七月三十一日マテノ期限ヲ以テ俸給月額參百五拾圓ヲ支給シ」ノ四十七字ヲ削リ「壹名ハ明治二十五年度（契約ニ定メタル日）ヨリ向フ三箇年ノ期限ヲ以テ俸給月額五百圓ヲ支給シ」ノ四十二字ヲ挿入スヘシ

辻文部次官ハ中村彌六君ノ修正動議ニ反對、長谷川泰君（百七十二番）ハ豫算委員主査今井磯一郎君（百九十番）ハ豫算委員ノ修正案ニ付詳細ノ報告ヲナス

渡邊洪基君（四十一番）ハ原案ニ贊成、辻文部次官ハ原案ヲ維持スルノ演說ヲナス

議長ハ討論盡キタルヲ認メ第三項第九項ニ付左ノ表決ヲ取ル

原案ヲ採用スヘシ

否決

議長ハ第三項第九項ヲ除キ他ノ各項ニ付テハ原案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ第十一ヲ議題トナス

柏田盛文君（百四番）ハ原案ニ贊成ノ演說ヲナス」渡邊洪基君（四十一番）ハ原案ニ贊成ノ演說ヲナス」

議長ハ討論盡キタルヲ認メ第三項ニ付左ノ表決ヲ取ル

原案ヲ採用スヘシ

否決

議長ハ第一項第二項ニ付テハ原案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ第十二ヲ議題トナス

議長ハ討論ナキヲ認メ第三項ニ付左ノ表決ヲ取ル

原案ヲ採用スヘシ

否決

議長ハ第一項第二項ニ付テハ原案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ第十三ヨリ第十七マテヲ聯貫シテ議題トナス

議長ハ討論ナキヲ認メ原案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ乙號歲出臨時部全體ヲ確定會議ニ付スル旨ヲ宣告ス

議長ハ討論ナキヲ認メ逐項會議ニ於ケル決議ノ儘本案ヲ採用スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ豫算第一條第二條ヲ議題トナス旨ヲ告ケ其ノ金額ニ多少ノ異動アルモ修正決議ノ結果ナルヲ以テ其ノ整理ヲ議長ニ委任スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ明治二十五年度大阪砲兵工廠特別會計歲入歲出豫算追加案ノ會議ヲ開ク旨ヲ宣告シ書記官ヲシテ之ヲ朗讀セシム

議長ハ陸軍省所管歲出第一款ヲ議題トナス

議長ハ討論ナキヲ認メ左ノ表決ヲ取ル

豫算委員ノ修正案ヲ採用スヘシ

可決

議長ハ陸軍省所管歲入第一款ヲ議題トナス

議長ハ討論ナキヲ認メ第一款第一項ニ付左ノ表決ヲ取ル

豫算委員ノ修正案ヲ採用スヘシ

可決

議長ハ第一款第二項ニ付テハ原案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ陸軍省所管歳入歳出全體ヲ確定會議ニ付スル旨ヲ宣告ス

議長ハ討論ナキヲ認メ逐項會議ニ於ケル決議ノ儘本案ヲ採用スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ特別會計豫算案ノ金額ニ多少ノ異動アルモ修正決議ノ結果ナルヲ以テ其ノ整理ヲ議長ニ委任スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ次回ノ議事日程ヲ報告シテ散會セシム時ニ午後五時三十分ナリ

衆議院議事錄

第三卷　第十九

衆議院議事錄第三卷第十九

明治二十五年六月一日(水曜日)

午後一時開場

出席政府委員

白根內務次官

渡邊大藏次官

古市內務省土木局長

議長ハ書記官長ヲシテ左ノ報告ヲ朗讀セシム

一　小包郵便法案(政府提出)ヲ貴族院ヨリ送付セラレタリ

一　天埜伊左衞門君鈴木麟三君永井松右衞門君橫井善三郎君森東一郎君加藤政一君早川龍介君今井磯一郎君加藤六藏君ヨリ府縣制修正法案ヲ提出セラレタリ

一　田艇吉君鵜飼郁次郎君朝倉親爲君大須賀庸之助君鹽田

奥造君吉岡倭文麿君木下莊平君ハ島田三郎君外三名ノ提出ニ係ル府縣制第二十七條修正法律案贊成者中ヘ追加セラレタキ旨申出ヲレタリ

議長ハ議事ヲ開ク旨ヲ宣告ス

白根內務次官ハ岐阜愛知兩縣震災救濟及河川堤防竝震災土木補助費ニ關スル齋藤珪次君外二名ノ質問ニ關シ更ニ前日ノ缺ヲ補フ演說ヲナス

議長ハ議事日程ニ揭載シタル震災地方租稅特別處分法案（政府提出）第一讀會ノ續會ヲ開ク旨ヲ宣告ス

震災地方租稅特別處分法案審査特別委員長曾我部道夫君（八十二番）ハ審査ノ經過及結果ヲ報告ス

森東一郎君（九十八番）ハ贊成ノ演說ヲナス

議長ハ討論盡キタルヲ認メ左ノ表決ヲ取ル

本案ノ第二讀會ヲ開クヘシ

可決

太田實君（百四十番）ハ左ノ動議ヲ提出ス

直ニ本案ノ第二讀會ヲ開クヘシ

可決

議長ハ本案ノ第二讀會ヲ開ク旨及其ノ朗讀ハ之ヲ省略スル旨ヲ告ケ第一條ヨリ第三條マテヲ聯貫シテ議題トナス

議長ハ討論ナキヲ認メ原案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ第四條ヨリ第六條マテヲ聯貫シテ議題トナス

議長ハ討論ナキヲ認メ原案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ第七條ヲ議題トナス

議長ハ討論ナキヲ認メ左ノ表決ヲ取ル

特別委員ノ修正案ヲ採用スヘシ

可決

議長ハ第八條ヲ議題トナス

太田實君（百四十番）ハ原案ヲ贊成スルノ演說ヲナス

議長ハ討論盡キタルヲ認メ左ノ表決ヲ取ル

原案ヲ採用スヘシ

否決

議長ハ第九條第十條ヲ逐條議題トナシ討論ナキヲ認メ原案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ第十一條ヨリ第十三條マテヲ聯貫シテ議題トナス

議長ハ討論ナキヲ認メ原案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

井上角五郎君（七十六番）ハ左ノ動議ヲ提出ス

直ニ本案ノ第三讀會ヲ開クヘシ

議長ハ井上角五郎君ノ動議ヲ採用スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ本案ノ第三讀會ヲ開ク旨及其ノ朗讀ハ之ヲ省略スル旨ヲ宣告ス

議長ハ討論ナキヲ認メ左ノ表決ヲ取ル

第二讀會ニ於ケル修正決議ノ儘本案ヲ採用スヘシ

可決

議長ハ議事日程ニ掲載シタル版權法案ノ第三讀會ヲ開ク旨及其ノ朗讀ハ之ヲ省略スル旨ヲ宣告ス

末松謙澄君（二百六十九番）ハ左ノ動議ヲ提出ス

第二條第二行中「モノ」ノ二字ヲ削リ「者」ノ一字ヲ挿入シ第三條第一行中「モノ」ノ二字ヲ削リ「者」ノ一字ヲ挿入シ第九條第一項及第二項中「金」ノ一字ヲ削リ第二十一條第二行中「者」ノ一字ヲ削リ「モノ」ノ二字ヲ挿入スヘシ

黒田綱彦君（二百三番）ハ左ノ修正動議ヲ提出ス

第十九條第一項中「本法」ノ二字ヲ削ルヘシ

田艇吉君（百二十四番）ハ左ノ修正動議ヲ提出ス

第二條中「此法」ノ二字ヲ削リ「此法律」ノ三字ヲ挿入シ第七條第三項第二行中「其官廳學校」ノ下「會社協會」ノ四字ヲ挿入スヘシ

議長ハ末松謙澄君ノ修正動議、黒田綱彦君ノ修正動議竝ニ田艇吉君ノ修正動議ヲ採用スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ左ノ表決ヲ取ル

第二讀會及第三讀會ニ於ケル修正決議ノ儘本案ヲ採用スヘシ

可決

議長ハ議事日程ニ掲載シタル政談集會及政社法案第一讀會ノ續會ヲ開ク旨ヲ宣告ス

政談集會及政社法案審査特別委員長末松謙澄君（二百六十九番）ハ審査ノ經過及結果ヲ報告ス

議長ハ本案ニ付テハ特別委員ノ修正案ヲ原案トシテ會議ニ付スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ討論ナキヲ認メ左ノ表決ヲ取ル

本案ノ第二讀會ヲ開クヘシ

可決

野田鎗三郎君（四十九番）ハ左ノ動議ヲ提出ス

直ニ本案ノ第二讀會ヲ開クヘシ

否決

加藤平四郎君（二百十二番）ハ左ノ動議ヲ提出ス

本案ノ第二讀會ヲ明日ノ議事日程ニ掲載スヘシ

議長ハ加藤平四郎君ノ動議ヲ採用スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ時未タ定刻ニ至ラサルモ茲ニ散會ヲ告クルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ次回ノ議事日程ヲ報告シテ散會セシム時ニ午後五時三十分ナリ

衆議院議事錄

第三卷　第二十

衆議院議事錄第三卷第二十

明治二十五年六月二日（木曜日）

午後一時開場

出席政府委員

尾崎法制局長官
渡邊大藏次官
岡澤陸軍次官
河津遞信次官
野田陸軍監督長
松本鐵道廳部長

議長ハ書記官長ヲシテ左ノ報告ヲ朗讀セシム

一　政府ヨリ左ノ通牒アリタリ

政府ノ提出ニ係ル私設鐵道買收法案ハ鐵道公債法案

議決ノ後ニ於テ議事ニ付セラレ度此段及請求候也

明治二十五年六月二日

内閣總理大臣伯爵松方正義

衆議院議長星亨殿

一　區裁判所檢事局檢事補設置ニ關スル法律案ヲ政府ヨリ提出セラレタリ

一　岡崎運兵衞君井上角五郎君上田農夫君ヨリ製鋼原料調査竝ニ製鋼試驗ニ關スル建議案ヲ提出セラレタリ

議長ハ議事ヲ開ク旨ヲ宣告ス

議長ハ柴四朗君江龍清雄君ヨリ病氣ノ爲各〻二週間ノ請暇書ヲ提出シタル旨ヲ告ケ之ヲ許可スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ議事日程ニ揭載シタル鐵道公債法案（政府提出）第一讀會ノ續會ヲ開ク旨ヲ宣告ス

鐵道公債法案及私設鐵道買收法案審査特別委員長佐藤里治君（百四十八番）ハ審査ノ經過及結果ヲ報告ス

折田兼至君（百五十八番）ハ反對ノ演說ヲナス

議長ハ討論盡キタルヲ認メ左ノ表決ヲ取ル

本案ノ第二讀會ヲ開クヘシ

可決

佐藤里治君（百四十八番）ハ左ノ動議ヲ提出ス

直ニ本案ノ第二讀會ヲ開クヘシ

否決

議長ハ議事日程ニ揭載シタル私設鐵道買收法案（政府提出）第一讀會ノ續會ヲ開クヘキノ處過刻報告シタル如ク政府ヨリノ請求モアレハ次ニ揭載シタル政談集會及政社法案ノ第二讀會ヲ開ク

旨ヲ宣告シ其ノ第一條ヲ議題トナシ書記官ヲシテ之ヲ朗讀セシメタルニ議員中ヨリ異論起リタルヲ以テ左ノ表決ヲ取ル

議長ノ處置ハ先例ニ依レルモノニシテ正當ナリト認定スヘシ

議長ハ可決ノ宣告ヲナシタルニ異議ノ申立アリタルヲ以テ氏名點呼ヲ行ハシム

議長ハ氏名點呼中議長ノ宣告ニ關シテ異論起リ議場騷擾セルヲ以テ議事ヲ妨害スルモノアレハ議場整理ノ爲退場ヲ命スル旨ヲ宣告シ左ノ議員ニ對シ退場ヲ命ス

尾崎行雄君 五番
田中正造君 三十一番
河島醇君 百六十八番
福田久松君 二百八十四番
鈴木萬次郎君 三十六番

氏名點呼ノ結果左ノ如シ

出席總數　二百六十六名
可トスル者　百四十七名
否トスル者　三十九名
可否ノ數ニ加ハラサル者　八十名

可決

議長ハ退場ヲ命シタル議員ニ對シ直ニ入場ヲ許可スル旨ヲ宣告ス

議長ハ第一條ニ付テハ討論ナキヲ認メ原案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ第二條ヨリ第五條マテヲ聯貫シテ議題トナシ其ノ朗讀ハ之ヲ省略スル旨ヲ宣告ス

議長ハ討論ナキヲ認メ左ノ表決ヲ取ル

原案ヲ採用スヘシ

可決

議長ハ第六條ヨリ第八條マテヲ聯貫シテ議題トナス

議長ハ討論ナキヲ認メ原案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ第九條ヲ議題トナス

議長ハ討論ナキヲ認メ原案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ第十條ヨリ第十五條マテヲ聯貫シテ議題トナス

議長ハ討論ナキヲ認メ原案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ第十六條ヲ議題トナス

小西甚之助君二百八番ハ左ノ修正動議ヲ提出ス

第十六條ノ次ニ左ノ一條ヲ加フヘシ

第十七條　第八條第二項ノ尋問ヲ受ケテ詐欺ノ答ヲナストキハ五圓以上五拾圓以下ノ罰金ニ處ス

議長ハ討論ナキヲ認メ第十六條ニ付テハ原案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ナシ

議長ハ左ノ表決ヲ取ル

小西甚之助君ノ修正動議ヲ採用スヘシ

否決

議長ハ第十七條ヨリ第十九條マテヲ聯貫シテ議題トナス

議長ハ討論ナキヲ認メ原案ニ可決シタルモノト認定スルニ異
議ノ有無ヲ諮フ
異議ナシ
議長ハ第二十條ヲ議題トナス
小西甚之助君（二百八十八番）ハ左ノ修正動議ヲ提出ス
第四項中「答フ」ノ下「ヘシ」ノ二字ヲ加フヘシ
議長ハ討論ナキヲ認メ小西甚之助君ノ修正動議ヲ採用スルニ
異議ノ有無ヲ諮フ
異議ナシ
議長ハ第二十一條第二十二條ヲ逐次議題トナシ原案ニ可決シ
タルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ
異議ナシ
議長ハ第二十三條ヨリ第三十二條マテヲ聯貫シテ議題トナス」

議長ハ討論ナキヲ認メ原案ニ可決シタルモノト認定スルニ異
議ノ有無ヲ諮フ
異議ナシ
野出鎗三郎君（四十九番）ハ左ノ動議ヲ提出ス
直ニ本案ノ第三讀會ヲ開クヘシ
議長ハ野出鎗三郎君ノ動議ヲ採用スルニ異議ノ有無ヲ諮フ
異議ナシ
議長ハ本案ノ第三讀會ヲ開ク旨ヲ宣告ス
末松謙澄君（二百六十九番）ハ左ノ修正動議ヲ提出ス
第九條中「本法」ノ二字ヲ削リ「此法律」ノ三字ヲ挿入スヘシ
議長ハ討論ナキヲ認メ末松謙澄君ノ修正動議ヲ採用スルニ異
議ノ有無ヲ諮フ
異議ナシ

議長ハ左ノ表決ヲ取ル

第二讀會及第三讀會ニ於ケル修正決議ノ儘本案ヲ採用スヘシ

可決

牧朴眞君（百七十八番）ハ左ノ動議ヲ提出シタルモ後チ之ヲ撤回スル旨ヲ述ヘタルニ異議ノ申立ヲナス者ナシ

鐵道公債法案ノ第二讀會ヲ明日ノ議事日程ニ掲載スヘシ

議長ハ議事日程ニ掲載シタル府縣制改正法案（朝長愼三君外三名提出）ノ第一讀會ヲ開ク旨及其ノ朗讀ハ之ヲ省略スル旨ヲ宣告ス

本案提出議員朝長愼三君（二百八十五番）ハ本案ノ趣旨ヲ辯明ス

朝長愼三君（二百八十五番）ハ左ノ動議ヲ提出ス

特別委員ヲ設ケテ本案ノ審査ヲ付託スヘシ其ノ選擧ハ各部ニ於テ之ヲナシ全體ニ付テ其ノ結果ヲ通算スヘシ

浮田桂造君（百六十三番）ハ左ノ動議ヲ提出ス

討論ヲ終局スヘシ

可決

議長ハ左ノ表決ヲ取ル

朝長愼三君ノ動議ヲ採用スヘシ

否決

議長ハ左ノ表決ヲ取ル

本案ノ第二讀會ヲ開クヘシ

否決

議長ハ次回ノ議事日程ヲ報告シテ散會セシム時ニ午後六時ナリ

衆議院議事錄

第三卷　第二十一

衆議院議事錄第三卷第二十一

明治二十五年六月三日(金曜日)

午後一時開場

出席國務大臣

松方內閣總理大臣兼大藏大臣

大木文部大臣

榎本外務大臣

田中司法大臣

出席政府委員

尾崎法制局長官

三好司法次官

議長ハ書記官長ヲシテ左ノ報告ヲ朗讀セシム

一　海上衝突豫防法案(政府提出)郵便聯合國郵便切手類保護法案

（政府提出）ヲ貴族院ヨリ送付セヲレタリ

一　福田久松君丸山名政君ヨリ法律第八十四號改正案ヲ提出セラレタリ

一　製鋼原料調査竝ニ製鋼試驗ニ關スル建議案ハ本日ノ議事ニ付セサルコトヲ請求スル旨岡崎運兵衞君外二名ヨリ申出ラレタリ

議長ハ議事ヲ開ク旨ヲ宣告ス

議長ハ議事日程ニ揭載シタル明治二十四年勅令第四十六號（政府提出）議事ノ續會ヲ開ク旨ヲ宣告ス

明治二十四年勅令第四十六號審查特別委員長坂本則美君（二百十一番）ハ審查ノ經過及結果ヲ報告ス

角田眞平君（二百三十五番）藤野政高君（二百七十九番）ハ反對、小西甚之助君（二百八十八番）ハ贊成ノ演說ヲナス

大垣兵次君（二百七十八番）ハ左ノ動議ヲ提出ス

討論ヲ終局スヘシ

可決

議長ハ左ノ表決ヲ取ル

本件ヲ承諾スヘシ

否決

議長ハ議事日程ニ揭載シタル民法商法施行延期法律案（貴族院提出）ノ第一讀會ヲ開ク旨ヲ宣告シ書記官ヲシテ之ヲ朗讀セシム

鈴木萬次郎君（三十六番）ハ左ノ動議ヲ提出ス

本案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ハ各部ニ於テ選擧シ全體ニ付テ其ノ結果ヲ通算スヘシ

村松龜一郎君（百十五番）ハ左ノ動議ヲ提出ス

本案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ハ十八名トシ其ノ選擧ハ

各部ニ於テ投票シ全體ニ付テ其ノ結果ヲ通算スヘシ

議長ハ左ノ表決ヲ取ル

鈴木萬次郎君ノ動議ヲ採用スヘシ

可決

鈴木萬次郎君（三十六番）ハ左ノ動議ヲ提出ス

本案審査特別委員ヲシテ本日ヨリ五日以内ニ其ノ審査ヲ報告セシムヘシ

可決

議長ハ次回ノ議事日程ヲ報告シテ散會セシム時ニ午後二時四十五分ナリ

衆議院議事錄

第三卷　第二十二

衆議院議事錄第三卷第二十二

明治二十五年六月四日（土曜日）

午後一時開場

出席國務大臣

松方內閣總理大臣兼大藏大臣

大木文部大臣

榎本外務大臣

後藤遞信大臣

河野農商務大臣

出席政府委員

渡邊大藏次官

岡澤陸軍次官

三好司法次官

議長ハ書記官長ヲシテ左ノ報告ヲ朗讀セシム

一　吉岡倭文麿君大島信君ヨリ海底電線布設ニ關スル建議案ヲ提出セラレタリ

一　民法商法施行延期法律案審査特別委員ノ當選者ハ左ノ如シ

鳩山和夫君
關直彦君
河野廣中君
島田三郎君
西村農商務次官
河津遞信次官
野田陸軍監督長
松本鐵道廳部長

牧朴眞君
元田肇君
三崎龜之助君
渡邊又三郎君
渡邊洪基君

一　島田三郎君外一名ノ提出ニ係ル民法中一部延期ニ關スル法律案ハ併セテ右特別委員ニ付託セリ

一　長谷川泰君ハ其ノ氏名ヲ銀行條例改正法律案贊成者中ニ記入シアルモ事實相違ナルヲ以テ除名セラレ度旨申出ラレタリ

議長ハ議事ヲ開ク旨ヲ宣告ス

議長ハ議事日程ニ揭載シタル小包郵便法案（政府提出）ノ第一讀會ヲ開ク旨及其ノ朗讀ハ之ヲ省略スル旨ヲ宣告ス

後藤遞信大臣河津遞信次官ハ本案ノ趣旨ヲ辯明ス

金井貢君（百二十二番）ハ左ノ動議ヲ提出ス

本案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選擧ハ各部ニ於テ之ヲナシ全體ニ付テ其ノ結果ヲ通算スヘシ

有友正親君（百七十三番）ハ左ノ動議ヲ提出ス

本案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選擧ハ議長ノ指名ニ因ルヘシ

議長ハ左ノ表決ヲ取ル

有友正親君ノ動議ヲ採用スヘシ

否決

金井貢君ノ動議ヲ採用スヘシ

可決

議長ハ議事日程ニ掲載シタル登記法改正法律案第一讀會ノ續會ヲ開ク旨ヲ宣告ス

登記法改正法律案審査特別委員長佐々木松坪君（五十五番）ハ審査ノ經過及結果ヲ報告ス

小西甚之助君（二百八十八番）ハ

本案ノ審査修正ヲ爲サシメンカ爲メ繼續委員ヲ設ケントス

ル登記法改正法律案審査特別委員ノ報告ハ議院法第二十五條ニ違背セルヲ以テ之ヲ同委員ニ返付シ更ニ適當ノ報告ヲナサシムヘシ

關直彥君（百十七番）丸山名政君（二百九十八番）ハ小西甚之助君ノ動議ニ反對

太田實君（百四番）ハ贊成ノ演說ヲナス

立石寬司君（二十番）ハ左ノ動議ヲ提出ス

討論ヲ終局スヘシ

可決

議長ハ左ノ表決ヲ取ル

小西甚之助君ノ動議ヲ採用スヘシ

否決

野出鎗三郎君（四十九番）ハ特別委員少數者ノ意見ヲ演説ス

淺香克孝君（七十二番）ハ特別委員ノ報告ニ反對、丸山名政君（二百十八番）ハ

賛成ノ演説ヲナス

都崎秀太郎君（二百十番）ハ左ノ動議ヲ提出ス

討論ヲ終局スヘシ

可決

議長ハ左ノ表決ヲ取ル

特別委員ノ報告ヲ採用スヘシ

否決

本案ノ第二讀會ヲ開クヘシ

可決

佐々田懋君（百九十八番）ハ左ノ動議ヲ提出ス

本案ノ第二讀會ハ民法商法施行延期法律案ヲ議了シタル後ニ之ヲ開クヘシ

否決

議長ハ議事日程ニ掲載シタル府縣制第二十七條修正法律案（島田三郎君外三名提出）ノ第一讀會ヲ開ク旨ヲ宣告シ書記官ヲシテ之ヲ朗讀セシム

議長ハ本案提出議員島田三郎君（百五十一番）ニ本案趣旨ノ辯明中既ニ午後四時ニ至リタルヲ以テ議事日程ニ掲載シタル鐵道公債法案ノ第二讀會ヲ開ク旨ヲ宣告シ其ノ辯明ヲ中止セシム

議長ハ議事日程ニ掲載シタル鐵道公債法案（政府提出）ノ第二讀會ヲ開ク旨ヲ宣告ス

佐藤里治君（百八十四番）ハ左ノ動議ヲ提出ス

本案ノ第二讀會ニ於テハ特別委員ノ修正案ヲ本題トシテ討論表決スヘシ

折田兼至君（百八十五番）山口千代作君（五十六番）ハ佐藤里治君ノ動議ニ反對ノ演說ヲナス

議長ハ討論盡キタルヲ認メ左ノ表決ヲ取ル

佐藤里治君ノ動議ヲ採用スヘシ

可決

議長ハ第一章ヲ議題トナシ其ノ朗讀ハ之ヲ省略スル旨ヲ宣告ス

鐵道公債法案及私設鐵道買收法案審查特別委員長佐藤里治君（百八十四番）ハ鐵道公債法案ニ關スル審查ノ經過及結果ニ關シ更ニ前日ノ缺ヲ補フノ報告ヲナス

立川雲平君（二百十七番）藤澤幾之輔君（六番）藥袋義一君（二百十三番）ハ各其ノ提出ニ係ル修正案ヲ維持スルノ演說ヲナス

議長ハ議員中ヨリ討論終局ノ動議ヲ提出シタルモノアルヲ以テ左ノ表決ヲ取ル

討論ヲ終局スヘシ

可決

議長ハ第一章第一條ニ付テハ特別委員ノ修正案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ第二條第一項中央線第一目ニ付テハ特別委員ノ修正案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ中央線第二目ニ付左ノ表決ヲ取ル

立川雲平君ノ修正案ヲ採用スヘシ

否決

特別委員ノ修正案ヲ採用スヘシ

可決

議長ハ中央線第三目ヨリ奥羽線第一目マテニ付テハ特別委員ノ修正案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ奥羽線第二目ニ付左ノ表決ヲ取ル

藤澤幾之輔君ノ修正案ヲ採用スヘシ

可決

議長ハ奥羽線第三目ヨリ九州線第六目マテニ付テハ特別委員ノ修正案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ北海道線ニ付左ノ表決ヲ取ル

特別委員ノ修正案ヲ採用スヘシ

否決

議長ハ第二條第二項ヨリ第六條マテニ付テハ特別委員ノ修正案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ第二章ヲ議題トナシ其ノ朗讀ハ之ヲ省略スル旨ヲ宣告ス

山口千代作君（五十六番）　關直彦君（百十七番）　ハ各〻其ノ提出ニ係ル修正案ヲ維持スルノ演說ヲナス

川原茂輔君（百八十番）　ハ其ノ提出ニ係ル修正案ヲ撤回スルノ請求ヲナシタルニ異議ノ申立ヲナスモノナシ

石田貫之助君（百七十六番）　ハ第十條ニ付左ノ修正動議ヲ提出ス

「毎線路ノ工費豫算ヲ定メ」ノ下「及ヒ運輸上ノ收支概算ヲ付シ」ノ十三字ヲ加フヘシ

議長ハ時已ニ定刻ニ至レルモ尚ホ引續キ議事ヲ開ク旨ヲ宣告ス

朝倉親爲君（二百六十二番）藥袋義一君（二百十三番）ハ各〻其ノ提出ニ係ル修正案ヲ維持スルノ演說ヲナス

武市安哉君（四十八番）ハ左ノ動議ヲ提出ス

討論ヲ終局スヘシ

可決

議長ハ第七條第一項ニ付左ノ表決ヲ取ル

山口千代作君ノ修正案ヲ採用スヘシ

否決

特別委員ノ修正案ヲ採用スヘシ

可決

議長ハ第一目ヨリ第六目マテニ付テハ特別委員ノ修正案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ更ニ左ノ表決ヲ取ル

關直彥君ノ修正案ヲ採用スヘシ

可決

朝倉親爲君ノ修正案ヲ採用スヘシ

否決

議長ハ第二項ニ付テハ特別委員ノ修正案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ第三項ニ付左ノ表決ヲ取ル

特別委員ノ修正案ヲ採用スヘシ

可決

議長ハ第八條ニ付テハ關直彦君ノ修正案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ第九條ニ付テハ關直彦君ノ修正案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ第十條ニ付左ノ表決ヲ取ル

石田貫之助君ノ修正動議ヲ採用スヘシ

否決

議長ハ特別委員ノ修正案ニ可決シタルモノト認定スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ書記官長ヲシテ左ノ報告ヲ朗讀セシム

一　田中正造君ヨリ質問答辯ニ關スル質問ヲ政府ニ提出セラレタリ

一　鳩山和夫君外六名ノ提出ニ係ル民法商法施行條例施行延期法律案ハ民法商法施行延期法律案審査特別委員ニ付託セリ

議長ハ延會ヲ命シ次回ノ議事日程ヲ報告シテ散會セシム時ニ午後六時二十五分ナリ

衆議院議事錄

第三卷　第二十三

衆議院議事錄第三卷第二十三

明治二十五年六月六日(月曜日)

午後一時開場

出席國務大臣

松方內閣總理大臣兼大藏大臣

大木文部大臣

榎本外務大臣

後藤遞信大臣

田中司法大臣

河野農商務大臣

出席政府委員

尾崎法制局長官

白根內務次官

議長ハ書記官長ヲシテ左ノ報告ヲ朗讀セシム

一　内務省警保局長小松原英太郎君ハ内務省所管事務政府委員仰付ラレタル旨松方内閣總理大臣ヨリ通牒アリタリ

一　民法商法施行延期法律案審査特別委員長ニ河野廣中君

渡邊大藏次官
岡澤陸軍次官
三好司法次官
河津遞信次官
小松原内務省警保局長
古市内務省土木局長
野田陸軍監督長
松本鐵道廳部長

同理事ニ三崎龜之助君當選セラレタリ

一　小包郵便法案審査特別委員ノ當選者ハ左ノ如シ

長尾四郎右衛門君
小野隆助君
木下莊平君
松澤光憲君
上田農夫君
中村彦次君
堤猷久君
前田篤之介君
牛島秀一郎君

議長ハ議事ヲ開ク旨ヲ宣告ス

請願委員長紫藤寛治君百六十番ハ左ノ報告ヲナス

一　左ノ請願ハ請願委員會ニ於テ院議ニ付スヘキモノト議決セリ

沖繩縣海底電信線架設ノ件　三通

一　左ノ請願ハ請願委員會ニ於テ院議ニ付スルヲ要セサルモノト審査シタルモ參考トシテ政府ヘ轉送スヘキモノト議決セリ

郡名存稱ノ件　一通

一　左ノ請願ハ請願委員會ニ於テ院議ニ付スルヲ要セサルモノト議決セリ

菓子稅則ヲ全廢シ菓子稅ヲ地方稅ニ編入ノ件　一通

明治二十三年法律第三十五號改正ノ件　一通

震災ニ付就業資金貸與ノ件　二通

特別地價修正ノ件　十四通

明治六年第八十二號公布第一項改正及第五項第十八項取消ノ件　一通

四大川治水費ヲ國庫支辨ノ舊ニ復スル件　一通

三河國置縣ノ件　一通

酒造稅則改正及北海道酒造特別稅率廢除ノ件　一通

蠶業保護ノ件　一通

豐肥鐵道布設ヲ乞フノ件　一通

豐肥鐵道官設ノ件　一通

菓子稅則廢止ノ件　一通

菓子稅則改正ノ件　一通

北陸鐵道官設ノ件　一通
租稅免除ノ件　十通
國庫剩餘金處分地租輕減登記法改正及
自家用料酒鑑札料廢止ノ件　一通
選擧干渉ノ件　一通

議長ハ議事日程ニ揭載シタル鐵道公債法案（政府提出）第二讀會ノ續會ヲ開ク旨ヲ宣告シ第三章ヲ議題トナス

石田貫之助君（百七十六番）ハ特別委員ノ修正案ニ反對、武石敬治君（二百二十四番）ハ贊成ノ演說ヲナス

藥袋義一君（二百十三番）ハ其ノ提出ニ係ル修正案ヲ維持スルノ演說ヲナス

牛場卓藏君（二百七十四番）ハ特別委員ノ修正案ニ贊成ノ演說ヲナス

立石岐君（十五番）ハ左ノ動議ヲ提出ス

討論ヲ終局スヘシ

可決

議長ハ便宜ノ爲メ第十一條ニ付左ノ表決ヲ取ル

第一項ニ係ル藥袋義一君ノ修正案ヲ採用スヘシ

否決

第二項ニ係ル藥袋義一君ノ修正案ヲ採用スヘシ

否決

特別委員ノ修正案ヲ採用スヘシ

可決

議長ハ第十二條ニ付左ノ表決ヲ取ル

藥袋義一君ノ修正案ヲ採用スヘシ

否決

議長ハ便宜ノ爲メ第十二條第十三條ニ付左ノ表決ヲ取ル

特別委員ノ修正案ヲ採用スヘシ

可決

議長ハ第十四條ニ付左ノ表決ヲ取ル

藥袋義一君ノ修正案ヲ採用スヘシ

否決

特別委員ノ修正案ヲ採用スヘシ

可決

議長ハ第四章ヲ議題トナス

石田貫之助君（百七十六番）ハ特別委員ノ修正案ニ反對ノ演說ヲナス」

議長ハ討論盡キタルヲ認メ第四章全體ニ付左ノ表決ヲ取ル

特別委員ノ修正案ヲ採用スヘシ

可決

太田實君（百四十番）ハ左ノ動議ヲ提出ス

直ニ本案ノ第三讀會ヲ開クヘシ

可決

議長ハ本案ノ第三讀會ヲ開ク旨ヲ宣告ス

高須峯造君（二百九番）折田兼至君（百五十八番）ハ特別委員ノ修正案ニ反對ノ演說ヲナス

早川龍介君（三十七番）ハ左ノ動議ヲ提出ス

討論ヲ終局スヘシ

議長ハ早川龍介君ノ動議ヲ採用スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ左ノ表決ヲ取ル

第二讀會ニ於ケル修正決議ノ儘本案ヲ採用スヘシ

可決

議長ハ議事日程ニ掲載シタル區裁判所檢事局檢事補設置ニ關

スル法律案（政府提出）ノ第一讀會ヲ開ク旨ヲ宣告シ書記官ヲシテ之ヲ朗讀セシム

三好司法次官ハ本案ノ趣旨ヲ辯明ス

高須峯造君（二百九番）ハ左ノ動議ヲ提出ス

本案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ハ議長ノ指名ニ因ルヘシ

議長ハ高須峯造君ノ動議ヲ採用スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ議事日程ニ掲載シタル岐阜愛知二縣下震災救濟及河川堤防工事費明治二十四年度豫算外支出ノ件（政府提出）會議ノ續會ヲ開ク旨ヲ宣告ス

岐阜愛知二縣下震災救濟及河川堤防工事費明治二十四年度豫算外支出ノ件審査特別委員長鈴木重遠君（二百六番）ハ審査ノ經過及結果ヲ報告ス

松方内閣總理大臣ハ本件ニ關シ政府ノ意見ヲ演說ス

渡邊大藏次官ハ特別委員ノ報告ニ反對ノ演說ヲナス

角利助君（百七十一番）ハ左ノ動議ヲ提出ス

本件ノ決議ヲナスニ先チ憲法第六十四條第二項ニ依リテ金額ヲ支出シタルハ憲法ニ違反セルモノナルヤ否ヤヲ決定スヘシ

議長ハ角利助君ノ動議ハ先決問題トシテ討議スヘキモノト認定セサル旨ヲ宣告シタルニ異議ノ申立ヲナスモノナシ

議長ハ時已ニ定刻ニ迫レルモ尚ホ引續キ議事ヲ開ク旨ヲ宣告ス

議長ハ狩野撰一郎君（二十二番）ノ反對演說中議員折田兼至君（百五十八番）ヨリノ請求アリタルヲ以テ三十分間ノ休憩ヲ命ス時ニ午後六時三分ナリ

○

午後六時三十分會議ヲ開ク

狩野撰一郎君（二十二番）　新井章吾君（百四十三番）　山田東次君（百三十八番）　原案ニ反對、安部井磐根君（百七十七番）　大野龜三郎君（二百七十六番）　贊成ノ演說ヲナス

東尾平太郎君（百九十九番）　左ノ動議ヲ提出ス

討論ヲ終局スヘシ

可決

議長ハ必要ト認ムルヲ以テ衆議院規則第百二十七條ニ依リ記名投票ヲ以テ表決ヲ取ル旨ヲ宣告シ左ノ表決ヲ取ル

本件ヲ承諾スヘシ　二百八十三名

出席總員　百四十六名

可トスル者　百三十六名

否トスル者　一名

可否ノ數ニ加ハラサル者　一名

可決

議長ハ次回ノ議事日程ヲ報告シテ散會セシム時ニ午後九時二十分ナリ

衆議院議事錄

第三卷　第二十四

衆議院議事錄第三卷第二十四

明治二十五年六月七日(火曜日)

午後一時開場

出席國務大臣

大木文部大臣
榎本外務大臣
後藤遞信大臣
田中司法大臣

出席政府委員

白根內務次官
渡邊大藏次官
伊藤海軍次官
辻　文部次官

議長ハ書記官長ヲシテ左ノ報告ヲ朗讀セシム

一　中野武營君伊藤大八君ヨリ日本鐵道會社ニ關スル件ニ付政府ニ質問ヲ提出セラレタリ

一　明治二十五年度歳入歳出總豫算追加案ヲ貴族院ヨリ回付セラレタリ

一　柏田盛文君ヨリ藥品營業竝藥品取扱規則追加法律案ヲ提出セラレタリ

河津遞信次官
小松原內務省警保局長
古市內務省土木局長
野田陸軍監督長
本宿海軍主計總監
松本鐵道廳部長

一　區裁判所檢事局檢事補設置ニ關スル法律案審査特別委員ニ左ノ諸君ヲ指名シタリ

本間耕曹君
佐々木善右衛門君
伊藤謙吉君
石井定彦君
小柳卯三郎君
小笠原貞信君
松島廉作君
清水文二郎君
藤澤幾之輔君

一　小包郵便法案審査特別委員長ニ小野隆助君同理事ニ上田農夫君當選セラレタリ

六月七日

議長ハ議事ヲ開ク旨ヲ宣告ス

田中正造君（三十一番）ハ其ノ政府ニ提出シタル質問答辯ニ關スル質問ノ趣旨ヲ演說ス

議長ハ議事日程ニ掲載シタル愛知岐阜富山福岡四縣下土木費補助トシテ明治二十四年度豫算外支出ノ件（政府提出）會議ノ續會ヲ開ク旨ヲ宣告ス

愛知岐阜富山福岡四縣下土木費補助トシテ明治二十四年度豫算外支出ノ件審査特別委員長河島醇君（百六十八番）ハ審査ノ經過及結果ヲ報告ス

加藤政之助君（百三十七番）齋藤珪次君（二百七十三番）ハ本件ニ反對、牛場卓藏君（二百七十四番）ハ贊成ノ演說ヲナス

齋藤良輔君（五十三番）ハ左ノ動議ヲ提出ス

討論ヲ終局スヘシ

可決

議長ハ必要ト認ムルヲ以テ衆議院規則第百二十七條ニ依リ記名投票ヲ以テ表決ヲ取ル旨ヲ宣告シ左ノ表決ヲ取ル

本件ヲ承諾スヘシ

出席總員　二百八十三名

可トスル者　百四十八名

否トスル者　百三十五名

可決

議長ハ議事日程ニ掲載シタル私設鐵道買收法案（政府提出）第一讀會ノ續會ヲ開ク旨ヲ宣告ス

鐵道公債法案及私設鐵道買收法案審査特別委員長佐藤里治君（四十八番）ハ私設鐵道買收法案ニ關スル審査ノ經過及結果ヲ報告ス

議長ハ討論ナキヲ認メ左ノ表決ヲ取ル

本案ノ第二讀會ヲ開クヘシ

否決

議長ハ議事日程ニ掲載シタル明治二十五年度豫算追加案（貴族院回付）ノ會議ヲ開ク旨ヲ宣告シ書記官ヲシテ之ヲ朗讀セシム

曾禰荒助君百二番ハ左ノ動議ヲ提出ス

本案ノ會議ハ明後日マテ延會スヘシ

可決

議長ハ右ノ決議ニ依リ政府ノ同意ヲ求ムル旨及次ニ掲載シタル議事日程ハ政府提出案ナルヲ以テ直ニ其ノ議事ニ移ル旨ヲ宣告ス

議長ハ議事日程ニ掲載シタル郵便聯合國郵便切手類保護法案（政府提出）ノ第一讀會ヲ開ク旨ヲ宣告シ書記官ヲシテ之ヲ朗讀セシ

魚住逸治君十五番ハ左ノ動議ヲ提出ス

本案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ハ議長ノ指名ニ依ルヘシ

可決

議長ハ議事日程ニ掲載シタル海上衝突豫防法案（政府提出）ノ第一讀會ヲ開ク旨及其ノ朗讀ハ之ヲ省略スル旨ヲ宣告ス

議長ハ過刻本院ノ決議ニ依レル議事日程ノ變更ニ付政府ノ同意ヲ得タル旨ヲ告ク

有友正親君百七十三番ハ左ノ動議ヲ提出ス

本案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ハ議長ノ指名ニ依ルヘシ

議長ハ有友正親君ノ動議ヲ採用スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ議事日程ニ掲載シタル府縣制第二十七條修正法律案（島田）

（三郎君外三名提出）第一讀會ノ續會ヲ開ク旨ヲ宣告ス

本案提出議員島田三郎君（百五十一番）ハ前會ニ引續キ本案ノ趣旨ヲ辯明ス

天埜伊左衞門君（二十七番）ハ左ノ動議ヲ提出ス

特別委員ヲ設ケテ本案ノ審査ヲ付託スヘシ其ノ選擧ハ議長ノ指名ニ依ルヘシ

平山靖彦君（二百四十二番）ハ原案ニ贊成ノ演說ヲナス

議長ハ左ノ表決ヲ取ル

天埜伊左衞門君ノ動議ヲ採用スヘシ

否決

加藤勝彌君（百四十六番）ハ左ノ動議ヲ提出ス

討論ヲ終局スヘシ

議長ハ加藤勝彌君ノ動議ヲ採用スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ左ノ表決ヲ取ル

本案ノ第二讀會ヲ開クヘシ

可決

魚住逸治君（十五番）ハ左ノ動議ヲ提出ス

本案ニ付テハ第三讀會ノ順序ヲ省略シ直ニ確定決議ヲナスヘシ

可決

議長ハ本案ヲ確定決議トシテ採用スルニ異議ノ有無ヲ諮フ

異議ナシ

議長ハ議事日程ニ揭載シタル地租條例改正案第一讀會ノ續會ヲ開ク旨ヲ宣告ス

地租條例改正案審査特別委員長伊東祐賢君（二十三番）ハ審査ノ經過

及結果ヲ報告ス

田中源太郎君（二百九十二番）ハ原案ニ反對ノ演説ヲナス

議長ハ波多野傳三郎君（百八十番）原案ニ賛成ノ演説中時已ニ定刻ニ至ルモ少シク時間ヲ延長スル旨ヲ宣告ス

議長ハ延會ヲ命シ次回ノ議事日程ヲ報告シテ散會セシム時ニ午後六時十分ナリ